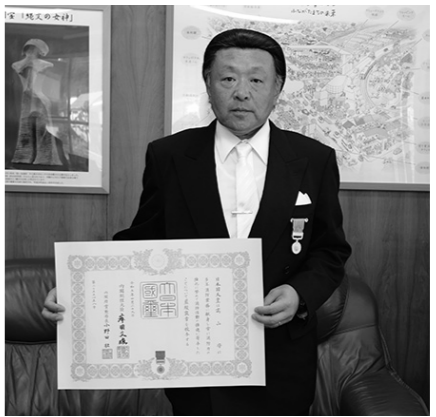


高山守さん 藍綬褒章

高山守さん（大平）は、昭和60年4月に舟形町消防団に入団。令和2年4月に本部付分団長となり、分団長として団をよく掌握し、団員の士気を高め、各部の実情に合った特性を十分に生かした消防活動に尽力されています。その功績が認められ、4月29日、令和5年「春の褒章」の県知事伝達式があり、藍綬褒章を受章されました。



現在も消防活動に加え、予防消防と消防思想の普及徹底に取組み、住民同士が町を守るという一つの目標に向かって協力しあえる環境づくりに努められています。

山科忠昭さん 瑞宝單光章

山科忠昭さん（富田第2）は、昭和46年9月に舟形町消防団に入



団。平成9年7月に副団長となり、一人暮らしの高齢者や災害時要配慮者への防火訪問や指導、防火広報を通じて地域との親密度を深めるとともに、団員相互の士気高揚を図るなど、地域防災力の向上に努められました。その功績が認められ、4月29日、令和5年「春の叙勲」の県知事伝達式があり、瑞宝單光章を受章されました。現在も後進の育成や消防思想の普及、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりのため尽力されています。

第1回町内会長会議

4月27日、第1回町内会長会議が中央公民館で開催されました。この会議は、地域と行政が情報



や意見の共有を行うことで、よりよい地域づくりにつなげていくことを目的に開催しています。

今年度は、各町内会で作成した5年間の「町内会びじょん」の最終年度で、活動の振り返りと次期びじょんの検討の時期です。そのため、東北公益文科大学大学院公益学研究科長の武田真理子氏を講師に招き、研修会を行いました。今後開催する町内会ワークショップは、地域の現状や将来について話合う機会です。ぜひみなさんと一緒に考えていきましょう。

西堀町内会 猿羽根峠トレッキング

4月30日、西堀町内会（会長 佐藤賢一さん）は世代間交流の一環として、新緑の猿羽根峠の旧道を舟形から尾花沢市名木沢までトレッキングしました。

終了後には体験実習館で隣組対抗のワナゲを楽しみました。



ゴールデンウィークの舟形若あゆ温泉

舟形若あゆ温泉では、大型連休の4月29日と30日、5月3日から7日までの間、鮎の塩焼きや鮎ごはんを販売しました。来客数は3日から5日に1日800人

とにぎわい、コロナ禍前の1,000人に近づきました。



最上小国川 クリーンアップ大作戦



5月11日、県、舟形町、最上町、小国川漁業協同組合などから組織される最上小国川清流未来振興機構（本部長 悪七喜幸さん）と山形県建設業協会最上支部（支部長 柿崎和朗さん）のみなさんがボランティアで河川のごみ拾いを行いました。これは、最上小国川の環境美化と、イメージアップを図ることを目的としています。最上町班と舟形町班が各2班の合計4班60名で河川付近のごみ拾いを行い、約1,080キロものごみを回収しました。

佐藤千枝子さん 長寿表彰

5月15日、今年数えて100歳を迎えられた佐藤千枝子さん（舟



形第4）へ、町から長寿のお祝いが増られました。佐藤さんは現在一人暮らしで、ホームヘルパーやデイサービスを利用されているそうです。読書が好きで、日中は新聞を読んだりテレビを見て過ごされているとのことでした。この制度は、長寿を祝福するため数え100歳になった舟形町におおむね50年以上住んでいる方にお祝い金と賀詞を贈るもので、平成3年にはじまり、受賞された方は佐藤さんで50人目となります。ますますのご長寿をお祈りします。

長沼亮介さん 青年農業者士に認定

4月20日、長沼亮介さん（富田第2）が山形県青年農業者士の認定を受けました。高齢化や離農による地域の農地の受け皿となり、スマート農業に積極的に取り組むなど、これからの地域農業の担い手として活躍が期待されます。



第67回山形県縦断駅伝競走大会

4月27日から29日に、第67回山形県縦断駅伝競走大会が行われました。新庄・最上チームは今年も粘り強い走りを見せ、中継地点は熱狂の渦に包まれました。町からは山口大陽選手（健康福祉課）と北村航太選手（舟形中学校教員）が出場し、チームに貢献しました。



最上地区地域交通安全活動推進委員会

春の交通安全県民運動 出発式

ほほえみ保育園 かもしかクラブ発会式



県公安委員会より伊藤良樹さん（舟形第3・写真右）、古川誠さん（舟形第3・写真左）が委嘱されました。



5月11日、舟形町役場前で春の出発式および町内キヤラパンが行われ、交通安全事故防止を呼びかけました。



5月19日、発会式が行われました。交通事故に遭わないように、楽しく通学ルートを学んでいきます。